

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が縮小した。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が縮小した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	電気機械、 はん用・生産用・業務用機械、 金属製品、輸送用機械	商談再開に伴う受注の増加 IT関連・自動車関連需要の持ち直し
	悪化	食料品、非鉄金属	外出自粛に伴う需要増加の一巡 自社製品の販売不振
非製造業	改善	卸売、建設、小売、物品賃貸、 対事業所サービス、不動産、 宿泊・飲食サービス	外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直し 自社製品・サービスへの引き合いの強まり
	悪化	運輸・郵便、情報通信	取扱物量の減少 設備投資需要の鈍化

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2020年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに下方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、自動車関連の低迷や設備投資需要の鈍化などから、減益計画となっている。非製造業は、新型肺炎に伴う顧客減少の影響などから、減益計画となっている。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、自動車関連の低迷や設備投資需要の鈍化などから、下方修正となった。非製造業では、新型肺炎に伴う顧客減少の影響などから、下方修正となった。

- 2020年度の設備投資は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、下方修正となった。
 - 製造業は、前年の大型投資の反動や投資計画の縮小・先送りなどから、前年を下回る計画である。非製造業は、新規出店や能増投資、老朽化設備の更新投資などから、前年を上回る計画である。
 - 前回調査対比でみると、製造業では、投資計画の縮小・先送りなどから、下方修正となった。非製造業では、追加的な更新投資がみられた一方、投資計画の縮小・先送りなどから、横ばいとなった。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I.は、「下落」超幅が拡大した。仕入価格判断D. I.は、「上昇」超幅が拡大した。
- 雇用人員判断D. I.は、「不足」超幅が縮小した。
- 資金繰り判断D. I.は、「楽である」超幅が拡大した。貸出態度判断D. I.は、「緩い」超幅が小幅拡大した。借入金利水準判断D. I.は、「低下」超幅が縮小した。

以 上